

令和4年2月（2022年）No.674

## 今年の課題コンの「題」は 『友』に決まる

このほど行われた宮中歌会始めの儀で、来年のお題が「友」であるとの発表が行われました。毎年この来年度の御題に合わせて、我がOMCも映像作品を創り、コンテストを実施していますが、今年の御題が「友」と決まった以上、皆さん頭を絞って作品構想を練って下さい。

タイトルに「友」が入っていればあとは自由です。課題コンテストは5月第2例会（19日）に行います。優秀作品は秋の公開映写会候補作品となります。

早くも「友ヶ島」の作品なら持っているよ、との声が出ました。そう言わずに新たな作品に挑戦してほしいものです。辞書を引くと「○○友達」「親友」「友子」「盟友」「戦友」……。あまりないですね。

案外難しいテーマかも知れませんが、皆さん頑張って考えて下さい。

## 野田邦雄会員が自叙伝出版

野田邦雄さんは昭和4年1月生まれの御年93歳。今も現役の野田金属工業株式会社の経営に携わっておられる一方、一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会の最高責任者として活躍なさっています。全国の学校からモノづくりの現場見学に延べ7千人以上の生徒さんが来られたそうです。（今はコロナで見学者も控え目だとか）野田さんの著作は、前回の満州からの引き揚げの記録版から2冊目。大変なご努力の賜物とおおきな拍手を贈りたいと思います。なお1月例会にお越しになりOMC会員全員に貴重な著書「卒寿を越えて」が贈呈されました。まことにありがとうございました。どうぞ今後もお元気で、例会にも時々おいで下さい。

## 2月例会のお知らせ

- 2月26日（第4土曜日）18時より 難波市民学習センターにて  
コロナ禍で人との触れ合いが少ない中、例会を大いに楽しみましょう。

# 1 月例会レポート

一昨日、総会を兼ねた第2例会があったばかりで、中一日置いた本日の通常例会だったが会員諸氏 13 名の出席を見て、まずまずの盛会となった。ほとんど年一度しか御顔を見せられない岩井さんが出席され、お元気な様子で何よりだった。

■ 運営担当：司会 岡本、書記 高瀬、YouTube 関係 江村、映写 上総、メモリー記録 江村、受付・照明 森下、宮崎の各氏

■ 出席者：岩井、江村、岡本、上総、紙本、合原、進藤、高瀬、坪井、野田宮崎、森下、山本の 13 氏  
上映作品（今月の書記は高瀬氏）

## 1. 秋・残照（改作）

岡本至弘 7分20秒

（作者コメント）

第2例会の上映作品の改作です。映像、音を直しました。少し見やすくなったと思います

（書記コメント）

一昨日の第2例会の作品を中1日で手直しされた。映像と音を直されたということで、先の作品に比べ幾分引き締まった印象だが、時間的にももう少し絞れるのではないかという意見があった。



## 2. ささ酒まつり

坪井仁志 7分40秒

（作者コメント）

46年前の1976年に8mmで作った作品を17年前の2005年にDVでリメイクしたものです。元はノンナレーションでしたが、この時初めて自分の声でナレーションを入れました。2005年1月のOVC例会で見てもらいました。



（書記コメント）

ささ酒まつりで、竹筒に入れられた酒を注ぐ女性、竹の猪口で受けて酒を呑む参拝者。BGM だけとしたら単調な作品に終わっていたかも知れないが、軽妙なナレーションを入れられたことで、生き生きとした作品に甦っている。

## 3. 山上鉄道

江村一郎 8分00秒

（作者コメント）

戦前、八尾市の高安山に鉄道があった。昭和5年にケーブルを上がった高安山駅から信貴山門駅までの2.1kmを電車で結ぶ山上鉄道を開業。戦局が悪化すると不要不急鉄道路線とみなされ、昭和19年にケーブル・山上鉄道ともに休止となった。その後ケーブルは昭和32年に再開されるも山上鉄道は廃止となりバス路線となる。



（書記コメント）

廃線跡も70数年経つと、当時の路線跡も映像も残されているものは少ないようで、作品作りの苦心が窺える作品。

## 4. 北国街道

山本正夢 8分10秒

（作者コメント）



街道シリーズを続けています。冬はやはり雪景色が合うと思ったので北陸まで出かけましたが、雪は積もるのは早い、解けるのも早く、雪景色は難しい。

#### (書記コメント)

湖北の朝焼けから始まる北国街道の宿場を訪ねる旅。特に板取宿の藁ぶき屋根の雪景色はほのぼのとした気持ちにさせられる。いくつかの宿場町を撮影されているが、全編を通して人が一人も出てこない。あえて人物を撮影されず、かつて栄えた宿場の今を表現されたのか、実際、人の姿がなかったのか、なぜか不思議な趣の作品である。

### 5. 五個荘と八日市大凧揚げ

合原一夫 11分55秒

#### (作者コメント)

OMC恒例の一泊撮影会作品。平成21年(2009年)の撮影会は八日市大凧揚げイベントが主で、当日のお天気、風が心配の種であったが、何とか百帖敷の大きさを誇る大凧が揚った。参加者から一斉に拍手が湧いたのが印象に残っている。大きな凧を作り、それを町の人たちが並んで曳き上げる行事は町の人たちの心を一つにして伝統を守る精神的よりどころであろう。長く続いてほしいものである。



#### (書記コメント)

伝統を受け継ぎ、大凧揚げに取り組む町の人たちの意気込みが伝わってくる作品。本当に長く続いてほしい行事だが、平成27年、風にあおられ観覧席に大凧が落下し、数人が死傷するという事故が起き、それ以後、中止されている。二度と見られないかも知れない大凧揚げの映像は貴重なものともいえます。

### 6. 八房杉と千年杉

紙本 勝 8分50秒

#### (作者コメント)

奈良県には二カ所に私が今までに目にした事もない杉の巨木があって、一方は樹齢600年で支幹が6本、片や700年で16本、立地が悪く全体像を撮るのが難しいものでした。



#### (書記コメント)

巨木シリーズ、今回は樹齢数百年の杉の巨木2本を奈良県に訪ねられている。高さが40数メートルとかで、余りにも大きく、全体を撮るのが難しいのは仕方ないでしょう。それにしても1カ所は登り坂の山道を2キロほど歩かれており、その制作意欲は巨木と合わせ、心に響くものがあります。

### 7. 冬桜

高瀬辰雄 8分00秒

#### (作者コメント)

近所の公園に1年に春と冬に咲く桜の樹が4本あります。散歩コースでほぼ毎日見ていたはずなのに、冬に咲いているのは今まで気にもとめませんでした。しかし、なぜか今年は気になり撮影してみました。十月桜という品種だそうですが、12月頃から咲き始め、雪の降る1月中旬の今も咲いています。



## 第2例会レポート

令和4年最初の例会日、今年初めて顔を合わせる仲間も多く、あちこちで新年の挨拶姿が見られた。



恒例によりまずは総会、会長よりご挨拶の後令和3年度活動報告、令和4年度活動計画、続いて進藤会計担当より会計報告、満場一致の承認拍手で無事終了。この後各種表彰式が行われた（詳細は前月号で報告）。又今年度撮影会計画の件が進藤企画担当から説明があった。休憩後、第2例会が始まった。今月の出品数は7本、出席者11名。



- 運営担当：司会 合原、書記 紙本、YouTube 関係 江村、映画 岡本、メモリー記録 江村、受付・照明 森下、宮崎の各氏
- 出席者：植村、江村、岡本、上総、紙本、合原、進藤、高瀬、宮崎、森下、山本の11氏

上映作品（今月の書記は紙本氏）

### 1. 秋・残照

岡本至弘 7分20秒

#### <作者コメント>

昨年の11月の終わりに、大阪箕面へ晩秋の情景を撮影に行ってきました。好天に恵まれて、紅葉も残っていましたので、カメラに収めることができました。ポエム的にまとめてみました。ある程度のストーリーに編集したつもりですがまだ、完成度は、80%です。



#### <書記コメント>

秋の雲、川の流れと岩に散った紅葉の葉、箕面の滝が落ち、前景のつばきの花が映える。紅葉の葉が水面に舞い、秋の終わりを飾るかのように真赤な紅葉、なるほど、全体を通して残照を表現する努力が伺える作品でした。

### 2. 新地車お披露目曳行

宮崎紀代子 9分24秒

#### <作者コメント>

加太町ではコロナウイルス第5波緊急事態解除に伴い、10月24日新地車の入魂式が行われた。感染対策のため昼2時間、夜1時間の制限ながらも町内曳行は大盛況であった。



#### <書記コメント>

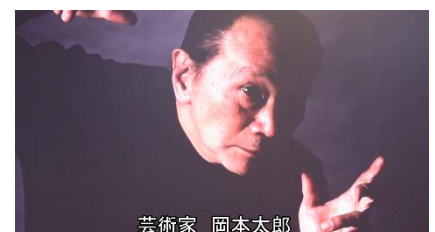
新地車の入魂式他誠に目出度い行事。町内を曳行する氏子たちも、地車を追って撮り歩き続ける作者にも意気がある。地車の上では旗振り役の青年団長ら喜びに満ちている。夜の提灯が圧巻、最後の万歳、めでたし、めでたしで大盛況でしたとある様に、作者の宮崎さんも大変ご苦労さんでした。

### 3. 信楽&岡本太郎

高瀬辰雄 7分40秒

#### <作者コメント>

芸術家、岡本太郎は信楽で、東京オリンピックや万博の陶芸作品を制作1971年に信楽の名誉市民になった。それから50年を記念して、2021年秋岡本太郎の作品展覧会が信楽・陶芸の森で開催された。作品は自由に撮影できピアノの演奏もあるということで出向き、まとめてみました。ただ陶芸作品は小品が多く、岡本太郎の芸術を表現するのは難しい。



### <書記コメント>

岡本太郎さんが信楽の名誉町民だったことを知りませんでした。作品を見て大いに関りがあった事を認識しました。小さい発見という展覧会でピアノの演奏に乗り、撮影された数多くの陶芸作品が登場、芸術の一端を伺うことができる作品でした。

#### 4. 鯖街道

山本正夢

9分20秒

##### <作者コメント>

鯖街道と雪を撮りたくて行きました。しかし、雪は余り無く、以前携帯で撮った雪景色を一部使いました。



##### <書記コメント>

小浜港の夜明けに続き町の風景、一転幻想的な雪の熊川宿、車が走り朽木宿と続く。そして車は動かないほど降りしきる大雪、終着出町柳となる。実は私も全長7.2kmを5回に分けて歩き6編の作品としたが、時期が12年前の6月のことで風景が大きく異なっていて、思い出と共に雪の宿場の情緒には感心させられました。

#### 5. 白浜雨情 撮影会

合原一夫

11分12秒

##### <作者コメント>

平成23年(2011年) OMC 撮影会は白浜と決まり、岡本企画担当世話役のもと、ロケハンに行く。現地のビデオ仲間には大変お世話になった。5月中旬、台風接近で天候が悪く、雨の中の撮影会となった。イベントの「砂まつり」が用意されていたが、これも雨で中止。オーストラリアからは運んできて積み上げられていた砂の盛り土が恨めしかった。この砂で砂の芸術作品がたくさん造られた筈で、かっこうの被写体の筈だった。一泊撮影会で悪天候になった一つの事例となった。しかし、皆何かと作品にまとめられたのはさすがであったが。



##### <書記コメント>

ロケは名所の千畳敷・三段壁・円月島遠望と順調、撮影会当日は生憎の雨模様ながら台風でしける三段壁の俯瞰と地下の洞窟、そして水族館と撮影をする予定の「砂まつり」が中止され、浜に積まれた砂山の虚しさが漂う。

#### 6. 積木ゲーム

上総秀隆

12分00秒

##### <作者コメント>

二人の娘と各々の家族が久しぶりに集まった。仕事の都合で全員そろうのは年末の30日だけ。お年玉の積木ゲームで賑わった。



##### <書記コメント>

積み木をだんだんに重ねながら、何時倒れるか、いや倒すまいと全員がドキドキハラハラ、一家団欒のムードが漂う。終わり間近に倒れてしまい、ア-アで終わるまで皆よく頑張られており、子供の思考力・協調性・達成感などが養われるというゲームの作品でした。

#### 7. BENKEI

江村一郎

8分30秒

### <作者コメント>

16年前の弁慶祭りを撮影したDVテープ有りきで制作されたものです。今回の素材としてDVテープは3本も有りDVだけでも充分過ぎるが、そのまま4:3画角では気が引ける。10月にコロナで中止されていた弁慶市が開かれることを知りDV素材生かすべく田辺市鬮鶏神社を中心に弁慶伝説の跡を訪ねた。



### <書記コメント>

DVテープが日の目を見てよかったです。田辺市の弁慶祭りが賑わう場面から京都五条大橋の弁慶像、弁慶石、さらに田辺市の弁慶由緒の産湯の井戸するなど、弁慶市も珍しく、鬮鶏神社の親子像は勿論、水軍出陣の地まで作品にされていました。



## OMC 大阪ムービーサークル 2022 年度撮影会 案内

企画担当(中 川、進 藤)

テーマ：・民俗学の祖「柳田国男」の世界と妖怪たち。

・朝来市・生野銀山から姫路市飾磨港へ「銀の馬車道」が貫く。

日 程：

令和4年5月14日(土)～15日(日)

行程

### 第一日目

- 辻川山公園とその周辺  
柳田国男生家、柳田国男・松岡家記念館、神崎郡歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅、旧辻川郵便局と辻川山公園の妖怪達(ここがメイン)

#### 柳田国男・松岡家記念館



銀の馬車道 モニュメントなど撮影



### 第二日目

- 辻川山公園とその周辺の追加撮影
- 町中に展示されている妖怪ベンチ探検  
最近も追加され、沢山の妖怪たちがいる。  
(各自で回る・レンタサイクルがある。)  
妖怪の場所が分かり難いものがあるので、地元の人に聞くことが大事。

#### 辻川山公園の妖怪たち



- 16時  
辻川・福崎町観光交流センターに集合して、タクシーで福崎駅へ
- 解散  
※コロナが終息していますように。